

山西小学校便り

温もり
信頼
笑顔

山西っ子

《なかよく・かしこく・たくましく》



6年生が出品した税に関する絵はがきコンクールの入賞等の報告に法人会より来校がありました。

令和3年3月3日(水) no.51 文責：上田

授業参観、ありがとうございました

今年度は、コロナ禍で授業参観の機会が少なくなりました。今回は、時間の制限はしましたが、教室に入室いただいていた参観となりました。子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。子どもたちは親御さんたちの視線を感じて緊張していたように思います。

PTA総会では、令和2年度の活動報告や会計(中間)報告、令和3年度のPTA役員承認などについて協議いただきました。今年度の今村PTA会長から来年度の坂田新PTA会長へとバトンが引き継がれることとなります。PTA専門委員会の活動も残りわずかとなりました。今年度の役員さん方には本当にお世話になりました。



令和2年度四役員さんありがとうございました

学級懇談会では、子どもの成長について各学級で担任から具体的な話があったと思います。懇談会資料にも子どもたちの成長についてふれられていました。学校と家庭の連携をより確かなものにする機会になったのではないかと思います。来校、ありがとうございました。

承認された新四役員さん(敬称略)

会長	坂田	智広
副会長	坂口	奉弘
	藤本	哲也
(書記)	山口	誠一
(会計)	藤川	和幸

PTA総会の校長挨拶では、私から「これからの新しい学校」の姿についてお話ししました。コロナ禍で見えてきた教育の場・心の居場所としての学校の役割、「記憶中心の学習」から「計画的学習」「関連づける学習」へと学習の在り方が変わりつつあること、実際の社会や生活で生きて働く「知識・技能」の習得がより一層大切になることなど、学校での学びは大きく変わりつつあります。例示した『世界は教科書でできている』(NHK1月12日放送番組)では、小学校3年生で習う電気を通すものの性質を使って電池の代用ができることなど、これから必要とされる「知識・技能」が、まさに「生きて働く知識・技能」ではなくてはならないことが示唆されていました。(電池の代用は緊急な場合だけにしないと発火の恐れがありますのでご注意ください。)

加えてお伝えすると、情報としてのテレビ番組を家族で視聴するなどして、メディアから学習への関心を引き出すことも楽しいかもしれませんね。子どもの興味・関心はたやすくは導きませんが、子どもとの会話の中に興味・関心の種はあるように思います。